



おかむら通信 145号

平成29年5月号

みなさま、寒かったり暑かったりの気候がやっと安定してだんだん落ちついた暖かさになってきましたね。しかし、まだ かせ influenza(B型)がどこかに隠れているようです。気を付けて毎日をご過ごしてください。

●今月の言葉

専門性とは何だろう、自分の不得意な分野から逃げるための口実も、あるのではないだろうか？ 一人の患者さんを診る上で大事なのは、広い視野で全身をみわたり、各組織・臓器はお互いに影響しあって生きているのだから、総合的に診る眼力が医者には求められる。医師としての力が及ばないと判断した時、専門医に紹介するのが現実と思うのだが。

●院長から

① 開業医で大事なことは、総合医という専門性をもつことです。イギリスではついこのあいだ、やっと、総合診療医の専門性が認められました。日本ではまだまだ先のようです。なぜなら彼らには厳しいトレーニングと広範囲な勉強、自己を捨てるほどの患者中心の精神、麻酔 外科を含めた全科の研修と、なが—い間の永久に続く勉強が必要なのです。

②病気は、単独に疾病が出現するわけではありません。かせにおいてもそうです。また、狭心症・心筋梗塞、心不全においても、同時に必ずと言っていいほど、別の疾病が隠れています。血圧が低下した・ふらふらする・頭痛がする・胸が苦しいなど、前記の心血管系・循環器系の病気以外に、別の病態が存在するのです。したがってわれわれ開業医には、総合診療的なセンスと、治療哲学が必要ですし、紹介しても頓珍漢なことがおきてしまうのです。

③神経ブロックの話ですが、特に、硬膜外神経ブロックは時に大変難しく、最近も、松戸市内の大小の病院での治療があきらめられて来院されることがありました。どうぞ困っている方がいらっしゃったら、一度受診なさってみてください。

④院長の経歴と得意科目は？ 表の看板に胃腸科外科としてありますが、松戸で勤務していた病院での専門性？をそのまま出しているだけで、院長は他流試合のため、都立墨東病院をはじめ、母校の順天堂関連に限ることなく各所でたくさん他の先生方と一緒に仕事をしてきました。看板の胃腸科・外科・ペインクリニックを始め【心血管系・乳がんも含め胸部肺疾患・腹部臓器】そして精神疾患も診療しています。もちろん応急手当をして病院紹介もしています。





⑤当院でのCT検査では造影CT3相・下肢動脈、胸腹部血管、上肢の血管造影、3Dを駆使します。脳血管造影も行います。64列CTは放射線被ばく量がごとごとく抑えられており、診断には大学での腹部血管造影の経験が役立っています。

⑥今年、確か4月から市の乳がんのエコー健診が年齢枠はありますが始まっています。当院のデジタルエコーを受けてください。疑わしきは、同時にエラストグラフィを行っています。

出来事

①川崎病のうたがい、応急手当（冠動脈病変などの）をしてすぐに病院へ救急搬送しました。現在病院で、治療中です。

②肺動脈塞栓の患者さんの診断（造影CT、肺動脈造影）と応急治療を行い救命の後、病院転送をし、事なきを得ました。

今後の当院姿勢

◎当院の患者さんも徐々に高齢になられ、お家で動けなくなり、通院できなくなるため、当院の医師が患者さんを在宅で診るようになってくると思います。徐々に、準備をしています。

院長の仕事（4月分）

6/ ヒッポ・ファミリークラブの方と松戸中央RC創立35周年記念式典 打ち合わせ

07/ セブ・西RC来日 ミーティング 浅草にて

08/ 青少年交換留学生 ハワイより来日 岡村家でホームステイ開始

10/ Sanjay と 懇談 世界の医療などについて 当院にて

13/ 松戸中央クラブ35周年記念式典 聖徳大学にて

国内外より約80名の外国人が来られ、自由に意見交換や、親睦・交流をおこないました。松戸ではこの規模は初めてのことで、国際交流のターニングポイントになると有識者から評価されました。講演はDavid W Russell氏「知的な空洞化：日本経済の見えざる危機」

16/ 松戸市夜間小児救急センターにて 勤務 市立病院にて

18/ 日立・富士スタッフと 当院64列CTとPACS（中央集中制御装置）について 当院にて

27/ 当院カンファレンス（昼）/ フジフィルムとPACSについて（夕） 当院にて。



平凡な
毎日も
しあわせが
あるよ



・笑顔
・感謝
・ありがとうと言える素直な心
・健康
・大切にしたいです



担当（3名取）